

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1 年次生 徳田颯太

はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受けて、2023 年 3 月 6 日から 3 月 16 日までの期間、オーストラリア New South Wales 州のキングスクリフに薬学語学研修で訪問したので、ここに報告します。

TAFE での授業

現地の North Coast TAFE Kingscliff Campus はオーストラリアの州立の職業訓練学校で、オーストラリア人と留学生のどちらも対象とした多くの専門コースや英語コースが開講されています。

午前は英語の授業で、日常会話やオーストラリアに関することを学びました。日本で受ける英語の授業とは違い、2 人組または数人のグループ内で実際に英語を話す場面が多く、さらにゲーム形式で進められていたので、たいへん実践的で楽しく受講することができました。

午後は薬学の授業で、オーストラリアの薬学について学びました。座学の薬学の授業では、先生の話を理解することに少し苦勞しました。しかし、これは自分にとって、更なる英語力向上の必要性を感じることができた経験となりました。また、グリフィス大学へ訪問した授業では、実験室や模擬薬局の見学、また薬のパッキングや最新のコンピュータ技術の見学など、貴重な体験をすることができました。



ホームステイ先での生活

私がホームステイさせて頂いたのは Alisa と Rodney 夫婦に、高校生の息子 Lachlan の 3 人家族で、そこにデンマークからの留学生 Oscar が加わったご家庭でした。また私のホストファミリーは動物好きだったので、家には犬と猫が 2 匹ずついました。

Alisa と Rodney はとても仲が良く、特に家族のみんなが集まる夕食の時間は、冗談を言ったり、その日にあった話で盛り上がりったりなど、楽しい時間を過ごしました。時には宿題を快く手伝ってくれて、自分が理解できないときは何度も簡単な言葉で言い直して教えてくれました。高校生の Lachlan はいつも気軽に話しかけてくれたので、すぐに仲良くなることができました。学校から帰ってきてから一緒に近くの川に遊びに行き、家では日本のアニメを一緒に見たりしました。また、Oscar は自分と同じ年齢にもかかわらず、英語を話すのがとても上手なので自分にとってとても良い刺激をもらいました。

週末にはすぐ近くでカンガルーを見ることができる場所や、ビーチに何度も連れて行ってもらったり、ショッピングに一緒に行ったりなど充実した時間を過ごすことができました。



最後に

今回の研修は私にとって初めての海外での体験であり、最初は不安な事が多くありました。しかし、同じ研修に参加する周りの人たちはもちろん、現地のホストファミリーや TAFE の先生方にサポートして頂いたおかげでとても楽しい時間を過ごすことができ、多くのことを学ぶ機会となりました。特にホームステイは様々なことを感じ、刺激を受けた貴重な経験となりました。この経験を元にこれからさらに多くの事に挑戦していこうと思います。

